

 **ごあいさつ**

暖冬で生活面においては冬野菜が安く助かりますが、雪不足の影響が今後心配です。新型コロナウイルス肺炎は、春の花が咲くころには、流行が治まっていることを祈りたいと思います。自分の健康は自分が管理、日々のうがい手洗いを一層丁寧に心がけていきましょう。八百屋さんの店先に九州地方の「新じゃがいも」が並んでいました。寒の内に九州を出発して出荷されたのでしょうか。名前はありませんでした。心の中で「春一番」とささやいてみました。菜の花も出回り、季節はどんどん早くなります。季節のものを食べるのが元気な源といいます。目でもいい更に食べていただけると尚嬉しいです。令和二年早くも二月になります今年も皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

子育てで最も重要な「過保護と過干渉」

…小さいときは「聞き分けの良い子⇒思春期には問題行動」へ…

子育てにおいて基本中の基本であるとその思いは変わりません。子どもは子どもが望んでいるいろいろなことを思い通りにしてもらおうと、やがて満ちたりて、どんどん自立していくものです。満たされれば満たされるほど、むしろ自立は早くなります。だから、子どもが望んでいることを親はいくらでもやってよいし、やりすぎることはないのです。もし、いつまでも子どもが親を頼ってくるすると、それは過保護だからではなく、むしろやりたいことを十分に満たしてこなかったからと考える必要があります。

逆に、子どもの自立を阻むのが『過干渉』であり、干渉とは、やりたいことでなく、やらねばならないことをさせようとする事で、【やらねばならないこと】の多くは、実は親がやらせたいと思っていることに過ぎないのではないのでしょうか。しつこく過剰になると子どもは親の意向をいつも気にしなければならなくなります。過干渉な親は、子どもが親の意向に沿ったときにだけ褒め、物を買ひ与える育て方だと、他者の評価に過敏になり、自分で物を考える習慣が身につきません。やりたいことが常に中途半派で終わるため、ずっと不全感を抱えたままに。自分のやりたいことが全く分からなくなってしまうお子さんもいます。子どもの自主性や主体性はやりたいことの中でしか育たないので、過干渉では、むしろ子どもの自立が遅くなり、思春期に様々な問題を示す人たちの中に、小さいときは「聞き分けのよい子」と言われていたというケースにお目にかかるのは、親の過干渉が要因であることが多いと感じます。子どもを取り巻く環境は「貧困(ネグレクト)」と「過干渉」両者ともストレスをためる子どもたち、子どもに失敗やケガをさせたらかわいそう？親が先回りして「失敗」を未然に防止してしまう。勉強もスポーツも優秀でなければならない等、大人の不安から、どんどん子どもの自信を奪い、つらい感情を外に出さない・怒りが蓄積・暴力・いじめを生み出す結果と。その前に、たくさんの知恵を出し合い子どもを豊かに力づけていきませんか。

代表 伊東 二美江

冬のこよみ

<主な行事>

- 2月 3日 節分
- 2月 4日 立春
- 2月29日 うるうの日
- 3月 3日 ひなまつり
- 3月10日 大きくなったね。お祝い会
- 3月11日 東日本大震災の日
- 3月20日 春分の日



昔、一年の始まりはお正月ではなく、春になる日(立春)だったのです。

その前の日は「大晦日」と同じで、1年間無事に過ごせる豆やお米をまいて、悪い病気や災い追い出しました。それが、今では「まめまき」となって、残っているのです。

特に春の節分を昔は、一年の始まりとしていたので、大事にされていました。



 **今みんなの関心事・・・新型コロナウイルス・・・** (2月2日情報から)

中国・武漢市を中心に急増している新型コロナウイルスによる肺炎に関し、国立国際医療研究センターの忽那賢志医師は2日、金沢市内で開かれた日本臨床微生物学会で、国内で確認された患者らの情報を基に「1週間ぐらい(のどの痛みやせきなどの)上気道炎の症状が続く」と報告した。忽那医師は、発症からしばらくは「肺炎を伴わないことがあり、診断が難しい」と述べた。中国での死亡者の多くは持病があったと報告されており、同センターの大曲貴夫・国際感染症センター長は「(健康な人の場合)思ったよりずっと軽症だ」と指摘。「マスクで醸し出されている印象との強烈な乖離(かいり)を感じる」と過熱する報道を疑問視した。東京などで新たに3人が新型コロナウイルスに感染したことが分かりました。これで国内で感染が確認されたのは14人となりました。

《風邪は万病のもとというように、風邪の弾き始めは注意が必要、早めの受診と対症療法を受けましょう！》